

CCFJ（日本炎症性腸疾患協会）
2017年度定期総会議案書



日時： 平成**29**年**6**月**24**日（土）午前**10**時～

場所： 東京女子医科大学病院

総合外来センター**5**階大会議室

CCFJ（日本炎症性腸疾患協会）定期総会議事次第

- ・ 開会の辞
- ・ 議長団の選任
- ・ 議事録署名人の指名
- ・ 議案審議
 - 第1号議案 庶務報告
 - 第2号議案 2016年度事業報告の承認
 - 第3号議案 2016年度収支決算報告の承認
 - 第4号議案 2016年度会計監査報告の承認
 - 第5号議案 2017年度事業計画の承認
 - 第6号議案 2017年度収支予算の承認
- ・ 議長団の解散
- ・ 閉会の辞

はじめに

日本炎症性腸疾患協会（以下、CCFJ）は、潰瘍性大腸炎およびクローン病などの炎症性腸疾患が広く社会一般に理解されることにより患者およびそのご家族の生活の質（Quality Of Life : QOL）の向上に寄与することを目的として2003年に特定非営利活動法人として設立され、現在まで14年が経過しております。

その中で治療は大きく変化し、抗TNF α 抗体治療薬などの革新的薬物療法の臨床導入や従来の治療法の見直しなどがなされ、新たな時代に突入した感があります。一方で、炎症性腸疾患の患者数の著明な増加と専門医の相対的な不足、高齢患者さんの増加による癌化の問題など、解決すべき課題は山積されております。また、難病医療制度の改革などがあり、医療費負担の方向性に大きな変更がなされました。

CCFJは、平成24年に体制を一新、事務局を移転して再始動してまいりました。

IBDニュースやIBDこどもキャンプ、診療医リスト、講演会の開催などを通じて、CCFJの特色である最新の正しい情報を伝える活動を行ってきました。昨年には新理事長を迎え、会の益々の発展の為努力しております。しかしながら会の発展も会員の皆様あってのこと心より感謝申し上げます。

CCFJは患者会ではありませんし、医療者だけのNPO法人でもありません。すべての方々の努力により、正しい情報を医療側から患者さんへ、また、患者さんや患者会の気持ちや要望を医療界に伝える役目を担っております。今後も特色ある活動を続けて参りたいと思います。ご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。

第1号議案 庶務報告

新入会

正会員	12 名
準会員	30 名

退会

正会員	8 名
準会員	0 名

2017年4月1日現在 会員数

正会員	276 名	(団体会員 18 団体)
準会員	112 名	(団体会員 2 団体)
賛助会員	25 社	(個人会員 2 名)

第2号議案 2016年度事業報告

2016年度 活動報告

2016年4月1日～2017年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本炎症性腸疾患協会

月日	活 動 内 容
2016. 6. 11	2016年度定期総会（東京女子医科大学病院）
2016. 7	IBDニュース58号発行
2017. 8. 27～8. 28	第6回IBD子どもキャンプ（三島市立箱根の里）
2016. 9. 17	講演会（三井生命 横浜集合教育センター） テーマ「横浜で考える炎症性腸疾患と就労」
2016. 10. 6	2016年度第1回理事会（東京女子医科大学病院）
2016. 11. 27	IBD講演会・交流会（静岡県総合健康センター） 共催：静岡東部CD会 東部UC会 静岡県東部保健所 「CD(UC)患者の腸内細菌について」 「CD(UC)患者の内視鏡検査につて」 「クローン病を糧にして～患者として～」
2016. 1	IBDニュース59号発行
2017. 2. 25	講演会（三井生命大阪） テーマ「小児IBDみなさんのよりよい毎日のために」
2017. 3. 18	2016年度第2回理事会（東京女子医科大学病院）
2017. 3	IBDニュース60号発行

イベント開催報告

第6回 IBD こどもキャンプ

主催：NPO 法人 日本炎症性腸疾患協会（CCFJ）

テーマ：「共に支え合い、共に成長しよう！」

日時：2016年8月27日（土）～28日（日）

場所：三島市立箱根の里（三島市北原菅 4710-1）

参加者：100名 IBD患者（25名）とその家族（22名）およびスタッフ53名（うち患者スタッフ15名）

協力：ボーイスカウト 静岡連盟三島地区大仁第1団、三島CD会、三島UC会

プログラム：

- 1日目 集合・名札づくり → 入所式 → 【こども】箱根オリンピック初日→しゃべくりIBD
【保護者】ワークショップ「こども達の問題点と解決策」
（医師、栄養士、先輩患者）
→ 夕食 → キャンドルサービス → 入浴 → 自由時間 → 就寝
- 2日目 起床・洗面 → 朝礼 → 朝食 → 清掃 → 「それぞれのStory～こどもリーダーから
みんなへのエール～」先輩患者による体験談
【こども】箱根オリンピック2日目
【保護者】パネルディスカッション「こども達の成長
とIBD治療の問題点」
→ 昼食 → 退所式 → 解散

CCFJ主催の「IBDこどもキャンプ」も今回で6回目となりました。IBDのこどもとそこそご家族の方々を対象に、病気をもちながらも前向きに進んでいけるようにと考えた取りくみです。

「しゃべくりIBD」として患児同士のディスカッションの時間。本音で語り合ったこの時間がこども達の距離をぐっと縮めたようです。保護者もワークショップで先輩患者、医療関係者と日頃の不安などを忌憚なく語り合う場を持ち子供たちへの想いが一歩前進したものとなったようです。

圧巻は「それぞれのStory」先輩患者からの体験談に涙する保護者の姿も見られました。

病気を持つことで抱える不安を少しでも解消できるように、これからもサポートしていきたいと思えます。

IBD ニュースの発行

本年度は 58、59、60 号の 3 回の発行となりました。

IBD ニュース vol. 58

発行日：2016 年 7 月

IBD の疫学—その動向と考え方	福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター 平井郁仁
IBD に対する腹腔鏡手術のメリット・デメリット	三重大学 消化管・小児外科学 荒木俊光
IBD の基本薬（5 - アミノサリチル酸）	東京女子医科大学病院 大森鉄平
IBD と東洋医学	千葉大学柏の葉診療所・漢方内科 勝野 達郎

IBD ニュース vol. 59

発行日：2016 年 11 月

日本炎症性腸疾患協会理事長挨拶	日本炎症性腸疾患協会理事長 杉田昭
バトンタッチの挨拶	日本炎症性腸疾患協会前理事長 亀岡信悟
IBD の基本薬（ステロイド）	東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科 石井彩子 猿田雅之
ストーマケアについて	東京山手メディカルセンター 皮膚・排泄ケア認定看護師 積美保子
局所療法を見直す	東京医科歯科大学消化器内科 潰瘍性大腸炎・クローン病先端治療センター 藤井俊光
IBD こどもキャンプ報告 2016	埼玉県立小児医療センター総合診療科 南部隆亮

IBD ニュース vol. 60

発行日：2017 年 3 月

小児炎症性腸疾患と成長発達	大阪医科大学 小児科 余田 篤
IBD と食事—脂質について	東京医科歯科大学医学部附属病院 臨床栄養部 斎藤恵子
クローン病の吻合法	横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科 辰巳健志
IBD 患者さんが海外に行く際に気をつけること	慶應義塾大学医学部 消化器内科 河口貴昭
学校側へ伝えたいこと	ふじいこどもクリニック 藤井徹

< IBD ニュース編集委員会 >

順不同・敬称略		
編集長	篠崎 大	(東京大学医科学研究所附属病院外科)
	飯塚 文瑛	(東京女子医科大学病院消化器内科)
	正田 良介	(国立病院機構東埼玉病院)
	河口 貴昭	(慶應義塾大学医学部医学研究科消化器内科)
	木村 英明	(横浜市立大学付属市民総合医療センター炎症性腸疾患)
	新井 勝大	(国立成育医療研究センター消化器科)
	猿田 雅之	(東京慈恵会大学消化器・肝臓内科)
	辰巳 健志	(横浜市立市民病院炎症性腸疾患科)
	藤井 俊光	(東京医科歯科大学消化器内科)
	工藤 孝広	(順天堂大学医学部小児科科学講座)
	大森 鉄平	(東京女子医科大学病院・消化器内科)

講演会

本年度は2回の主催講演会、1回の共催講演会を開催しました。

第1回講演会

主催： NPO 法人日本炎症性腸疾患協会 (CCFJ)
日時： 2016年9月17日(土)
場所： 三井生命保険(株) 横浜集合教育センター
テーマ： 『横浜で考える炎症性腸疾患と就労』

講演1 「炎症性腸疾患の最新の内科治療」 藤井 俊光先生
(東京医科歯科大学付属病院 消化器内科)

講演2 「炎症性腸疾患と就労 ～就労支援の現場から～」 石井 京子氏
(テスコ・プレミアムサーチ(株) 代表取締役)

講演会終了後、懇親会

第2回講演会

主催： NPO 法人日本炎症性腸疾患協会 (CCFJ)
日時： 2017年2月25日(土)
場所： 三井生命保険(株) 大阪支社セミナー室
テーマ： 『小児 IBD みなさんのよりよい毎日のために』

講演1 「小児 IBD の治療について」 根津 理一郎先生
(西宮市立中央病院 外科)

講演2 「栄養士が考える小児 IBD 食事の工夫」 前川 哲雄氏
(埼玉県立がんセンター 栄養部)

講演会終了後、懇親会

共催講演会

共催： 静岡東部CD会 東部UC会 静岡県東部保健所 NPO法人CCFJ
日時： 2016年11月27日
場所： 静岡県総合健康センター3階第1・2研修室

講演「CD(UC)患者の腸内細菌について」 河口 貴昭 先生
(慶應義塾大学医学部医学研究科 消化器内科)

講演「CD(UC)患者の内視鏡検査について」 大森 鉄平 先生
(東京女子医科大学病院 消化器内科)

講演「クローン病を糧にして～患者として～」大野 洋平 先生
(練馬光が丘病院 総合診療科)

書籍の出版

CCFJは2005年に「管理栄養士のためのクローン病栄養指導サポートブック」を刊行して以来、7冊の炎症性腸疾患関連の書籍を発刊しました。

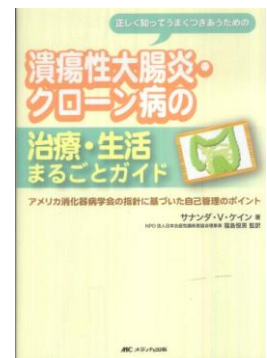
■「潰瘍性大腸炎・クローン病の治療・生活まるごとガイド」

潰瘍性大腸炎・クローン病の治療・生活まるごとガイド—アメリカ消化器病学会の指針に基づいた自己管理の

原書名：IBD Self - Management: The AGA Guide to Crohn's Disease and Ulcerative Colitis (Kane, Sunanda V.)

サナンダ・V・ケイン【著】 福島 恒男【監訳】

メディカ出版 (2011/06/01 出版)



■「潰瘍性大腸炎の診療ガイド」文光堂 改訂版

潰瘍性大腸炎の診療ガイド 第2版

文光堂 (2011/10/05)

著者 日本炎症性腸疾患協会 (編)



■「クローン病の診療ガイド」文光堂

文光堂 (2011/10/11)

編集：NPO法人 日本炎症性腸疾患協会 (CCFJ)

第1章 診断基準・重症度・分類/第2章 診断法/第3章 病理診断/第4章 内科的治療

第5章 外科的治療/第6章 食事および生活指導/第7章 妊娠とクローン病

第8章 小児のクローン病/第9章 長期予後/第10章 癌化

第11章 社会支援



■IBDチーム医療ハンドブック 潰瘍性大腸炎・クローン病患者を支援するために

文光堂 (2008/9/27 4刷)

編集：NPO法人 日本炎症性腸疾患協会

■潰瘍性大腸炎 患者が本当にききたいこと-129のQ&A

弘文堂 (2010/7/15 2刷)

編集：NPO法人 日本炎症性腸疾患協会

■クローン病 患者が本当にききたいこと-140のQ & A

弘文堂 (2013/8/15 2刷)

編集：NPO法人 日本炎症性腸疾患協会

■安心レシピでいただきます！

弘文堂 (2014/9/15 19刷)

監修：NPO法人日本炎症性腸疾患協会

第3号議案 2016年度収支決算報告

平成28年度「特定非営利活動に係る事業会計」収支決算書
平成28年4月1日～平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本炎症性腸疾患協会

科目	金額			備考
	2016年予算	2016年決算	増減	
I 収入の部				
1 財産運用収入		0		
2 会費収入				
1)正会員会費	900,000	677,000	▼223,000	
2)準会員会費	260,000	223,000	▼37,000	
3)賛助会員会費	1,300,000	1,040,000	▼260,000	
小計	2,460,000	1,940,000	▼520,000	
3 事業収入				
1)刊行物の発刊事業	100,000	40,927	▼59,073	
2)情報提供事業	150,000	52,000	▼98,000	講演会関連
3)ネットワーク推進事業				
4)国内外の交流支援事業				
5)治療研究支援事業				
6)社会生活支援事業	500,000	345,270	▼154,730	IBD こどもキャンプ
小計	750,000	438,197	▼311,803	
4 補助金等収入				
1)民間補助金				
2)地方公共団体補助金				
小計	0	0	0	
5 寄付金収入				
1)寄付金	500,000	1,271,820	△771,820	今年度個人会員寄附・患者会寄附あり
2)募金				
小計	500,000	1,271,820	△771,820	
6 広告収入	400,000	60,000		広告収入、
7 雑収入				
1)雑収入	200	5		受取利息
小計	400,200	60,005	▼340,195	
当期収入合計	4,110,200	3,710,022	▼400,178	
前期繰越収支差額	739,450	739,450		
収入合計	4,849,650	4,449,472	▼400,178	

科目	金額			備考
	2016年予算	2016年決算	増減	
Ⅱ 支出の部				
1 事業費				
1)刊行物の発刊事業	750,000	475,135	▼274,865	IBD ニュース、発刊事業
2)情報提供事業	250,000	318,345	△68,345	内、地方講演会 1 回
3)ネットワーク推進事業	10,000	0	▼10,000	診療医リスト更新
4)国内外の交流支援事業				
5)治療研究支援事業				
6)社会生活支援事業	500,000	637,747	△137,747	IBD こどもキャンプ
小計	1,510,000	1,431,227	▼78,773	
2 管理費				
1)給料手当	1,000,000	895,895	▼104,105	
2)役員報酬				
3)通信費	400,000	343,330	▼56,670	電話/FAX、宅配料 ドメイン・ウェブサーバー費
4)荷造運賃				
5)旅費交通費	150,000	157,520	△7,520	理事会、通勤交通費
6)接待交際費				
7)会議費	50,000	42,756	▼7,244	
8)事務用消耗品費	100,000	86,848	▼13,152	封筒他
9)備品消耗品費	50,000	371	▼49,629	
10)修繕費		7,560	△7,560	
11)車両燃料費		2,672	△2,672	
12)保険料	60,000	7,440	▼52,560	傷害保険
13)租税公課	100,000	71,651	▼28,349	地方税等
14)教育訓練費				
15)リース料				
16)支払手数料	30,000	34,869	△4,869	銀行等手数料
17)支払報酬	350,000	327,240	▼22,760	事務委託料等
18)雑費	30,000	600	▼29,400	
19)その他支出	100,000	6,637	▼93,363	
	2,470,000	1,972,115	▼497,885	
3 予備費	100,000	0	▼100,000	
当期支出合計	4,080,000	3,403,342	▼676,658	
当期収支差額		306,680		
次期繰越収支差額		1,046,130		

第4号議案 2016年度会計監査報告

会計監査報告書

特定非営利活動法人 日本炎症性腸疾患協会

理事長 杉田 昭 様

私は、日本炎症性腸疾患協会の2016年度（2016年4月1日～
2017年3月31日）に関わる、収支決算書について会計監査を
実施いたしました。

この監査に当たり、必要と認められる範囲において、諸帳簿及び現金を
調査した結果、上記会計年度における日本炎症性腸疾患協会の収支状況は、
適正かつ正確に記帳、保管されていることを認めました。

平成29年6月19日

監事

穂津理一郎 

5号議案 2017年度事業計画

1. 事業活動方針

本年度は、従来事業の継続をおこなっていくが、ホームページ機能の充実を行い、患者会との連携を深めてさらなる炎症性腸疾患の情報の発信に力を入れる。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 炎症性腸疾患に関する刊行物の発刊とその配布

・ I B D ニュースの発行事業

日時：7月、11月 2018年3月（年3回）

場所：事務局、配布は全国

従事者人員：3名

対象者：1万人（炎症性腸疾患の患者、医療機関、患者会）

支出見込額：75万円

・ 炎症性腸疾患に関する市民公開講座、医療相談などの情報提供活動

医療講演会事業

・ 日時：2017年 9月

場所：東京

従事者人員：5名

対象者：100名（一般市民）

支出見込額：10万円

・ 日時：2018年 3月

場所：東京以外の地域

従事者人員：5名

対象者：100名（一般市民）

支出見込額：20万円

② 社会生活支援

I B D こどもキャンプ事業

・ 日時：2017年 8月 26日（土）～27日（日）

・ 場所：静岡県三島市

・ 従事者人員：50名

・ 対象者：50名（小児炎症性腸疾患の患者、家族、関係者）

・ 支出見込額：50万円

③ ホームページ更新事業

- ・ お知らせ情報機能の追加
- ・ バナー広告
- ・ 支出見込額： 5万円

④ 診療医リストの更新事業

- ・ 支出見込額： 1万円

⑤ 刊行物発行

- ・ 書籍出版担当理事を決定して以下の作業を計画する。
- ・ ニュースの原稿を現在のものに修正して製本化
- ・ 既に刊行された書籍の改訂
- ・ ホームページからダウンロード可能な小冊子の作成
- ・ 支出見込額： 10万円

⑥ その他

- ・ CCFJパンフレットリニューアル
- ・ 支出見込み額： 10万円

第6号議案 2017年度収支予算（案）

収入の部

科目	金額		備考
I 収入の部			
1 財産運用収入	0	0	
2 会費収入			
1) 正会員会費	800,000		
2) 準会員会費	300,000		
3) 賛助会員会費	1,300,000		
小計		2,400,000	
3 事業収入			
1) 刊行物の発刊事業	100,000		
2) 情報提供事業	150,000		講演会
3) ネットワーク推進事業	0		
4) 国内外の交流支援事業	0		
5) 治療研究支援事業			
6) 社会生活支援事業	500,000		IBD子どもキャンプ
小計		750,000	
4 補助金収入			
1) 民間補助金	0		
2) 地方公共団体補助金	0	0	
5 寄付金収入			
1) 寄付金	700,000		
2) 募金	20,000		
小計		720,000	
6 広告収入（HP, ニュース）	300,000	300,000	
7 雑収入			
1) 雑収入	100	100	受取利息等
当期収入合計		4,170,100	
前期繰越収支差額		1,046,130	
収入合計		5,016,230	

支出の部

科目	金額		備考
II 支出の部			
1 事業費			
1) 刊行物の発刊事業	750,000		IBD ニュース発刊
2) 情報提供事業	300,000		医療講演会
3) ネットワーク推進事業	10,000		診療医リスト
4) 国内外の交流支援事業			
5) 治療研究支援事業			
6) 社会生活支援事業	500,000		IBD こどもキャンプ等
小計		1,560,000	
2 管理費			
1) 給料手当	1,000,000		
2) 通信費	400,000		電話、FAX、宅配料
3) 旅費交通費	150,000		理事会、通勤交通費
4) 会議費	50,000		
5) 事務用消耗品費	100,000		封筒他
6) 備品消耗品費	50,000		
7) 印刷経費	50,000		
8) 保険料	30,000		
9) 租税公課	100,000		地方税、印紙代等
10) 新聞図書費	0		
11) 支払手数料	30,000		
12) 支払報酬	350,000		事務委託料等
13) 雑費	30,000		
14) その他支出	100,000		
小計		2,440,000	
3 予備費		100,000	
当期支出合計		4,100,000	
当期収支差額		70,100	
次期繰越合計		1,116,230	

日本炎症性腸疾患協会役員名簿（敬称略・順不同）

2016年6月7日～2018年6月6日

理事長	杉田 昭	横浜市立市民病院 外科
副理事長	飯塚 文瑛	日本炎症性腸疾患協会
理事	中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学
理事	駒木根 由美子	日本大学病院看護部
理事	吉村 直樹	東京山手メディカルセンター炎症性腸疾患内科
理事	新井 勝大	国立成育医療研究センター消化器科
理事	小金井 一隆	横浜市立市民病院外科
理事	篠崎 大	東京大学医科学研究所附属病院外科
理事	高橋 賢一	東北労災病院大腸肛門外科
理事	板橋 道朗	東京女子医科大学病院消化器外科
理事	猿田 雅之	東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科
理事	榎本 哲	つむぐびとプロジェクト
理事	吉田 公彦	日本炎症性腸疾患協会
理事	花岡 隆夫	かながわコロン
監事	鈴木 康夫	東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科
監事	根津 理一郎	西宮市立中央病院外科

顧問 福島 恒男 武藤 徹一郎 朝倉 均
 棟方 昭博 小倉 敬一 亀岡 信悟